北海道帯広三条高等学校　学校通信　第３号

樹蔭静けく

北海道帯広三条高等学校
〒080-2473
北海道帯広市西23条南2丁目12番地
TEL：0155（37）5501

発行日　令和２年７月３１日

進路指導本格化

来年度の教科・科目選択の説明会を2年次は３日、１年次は10日に実施しました。また、３年次は保護者向け進路説明会を３日に行い、いよいよ進路決定に向けた取組が本格化しました。

本校は進学重視型単位制高校です。一般的な普通科とは違い、必修の教科・科目以外に数多くの選択科目を設置しており、生徒が自らの興味・関心または進路希望に合わせて自由にカリキュラムを組むことができる仕組みになっています。とはいえ安易な選択は禁物です。いざ受験する時に、受験科目が合わないことがないようにしっかり自分の進路について考え、さらに希望が変わっても対応できるようある程度の幅の広さも持ち合わせたいところです。２・３年次の選択科目は最終的には12月上旬に決定します。

一方、３年次は大きく変更となった大学入試や就職試験について佐藤進路部長から説明しました。特に国公立大の共通テストは二つの日程が用意されましたが、詳細についてはまだ決まっていない部分があります。早速、文科省から共通テストに関する日程希望調査が行われました。今後正確な情報がわかり次第速やかに情報提供してまいります。

いずれにしてもまずは自分をしっかりと見つめ、高校卒業時だけではなく将来にわたってどう生きていくかという広い視点が必要です。どうかご家庭におかれましても、子どもたちのチャレンジを後押ししていただきますようお願い申し上げます。

扇風機設置しました！

過日行われたPTA役員会の場で「熱中症対策に教室に扇風機を購入してあげてほしい」という声をいただきました。坂本PTA会長のお取りはからいをいただき、このほど各教室に扇風機を設置することができました。

これから本格的に暑くなります。学校内ではマスク着用が原則のため、少しでも暑さをしのげるよう扇風機による風の流れについて本校の物理担当・西川教諭がシミュレーションを実施してくれました。３台以上であれば十分な効果は得られるとの結果。コンセントや消費電力の関係から普通教室３台の設置となりました。それぞれのHRで邪魔にならないよう工夫しながら大切に利用させていただいています。PTAの皆様方、本当にありがとうございました。

中学校での学校説明に一工夫

７月は中学校に招かれて学校説明をするシーズンです。本校では教頭が担当しているのですが、今年はその内容についてある一工夫が。３年選択授業に『自己表現』があります。その中で、中学生にわかりやすく三条の魅力を伝えられるよう教頭のプレゼンについて生徒たちが評価をする取組を行いました。生徒たちは、「教頭先生の軽妙な関西弁は親しみやすく興味を引きやすい」と評価しつつ、内容については「もっと三条の楽しさを伝えるためには行事を紹介すべき」とか「単位制は中学生にはわかりにくいのでもっと丁寧に」など数々の指摘をしてくれました。この授業では引き続きプレゼンなどの自己表現の技術を学びながら、10月に本校にて実施予定の学校説明会で生徒自身が学校説明できるよう準備していく予定です。

図書室に校長コーナー

短い夏休みとなりましたが、それでも少しはまとまった時間がとれるはずです。ぜひ、本を読みましょう。

そんな中、図書局が生徒向け校長通信で紹介した本を展示する『校長のすゝめ』コーナーを図書室に設置してくれました。そこには等身大の私の写真パネルが！あまりにリアルすぎて遠目から挨拶をする生徒もいるとかいないとか・・・。私の校長通信は本の中の一言を切り取っただけのものも多いのですが、それをきっかけにその本を手にしてくれたらとても嬉しいです。

このように図書室は局員の知恵と工夫にあふれた素敵なディスプレイがなされています。本の内容を紹介するポップも素晴らしく、読みたくなること請け合いです。局員が厳選した漫画もあります。図書局員のガイドを頼りに本の世界に足を踏み込んでみてはいかがですか？ぜひ図書室に気軽に足を運んでください。

三条プリズム

三条高校の先生方を紹介します。今回は1年次主任でスケート部顧問の保健体育科・後藤教諭です。

第3回　１年次主任　後藤　陽　教諭

夢を持って三条に入学してくれた生徒全員を卒業させたい！

◆コロナ禍の中で

生徒たちはしっかり新しい生活様式を守ってくれています。お昼も正面向いて無言で食べています。行事も一切できず、校歌も応援歌も歌えずに三条高校への愛校心を育むことができない状況が本当に恨めしいです。行事への制限がなくなる10月以降には年次として何らかの取組をしていきたいと考えています。早くみんなが安心して素顔で付き合える日がくればいいと願っています。

◆年次主任として全員卒業が目標

夢を持って入学してくれた240名全員を３年後の３月１日に卒業させることが年次主任としての目標。一教師としては社会に一人で放り出されても生き抜いていく人間力を身につけさせてあげたい。そのために授業はもちろん、色んな機会をとらえて心の成長を促していきたいと考えています。私は生徒に「全力であたる」ことを求めています。勉強でも部活でも遊びでも、その瞬間その瞬間全力であたってほしい。そして、素早く切り替えてまた全力であたる。そういったメリハリをつけられる人間になってほしいのです。

◆もともとは野球小僧

実はスポーツの中で１番スケートが好きだったわけではありません。野球が大好きだったのですが、冬はスケートをしていて、中３の時に道大会２位の成績を収めました。当然、全国大会でも入賞は確実だと思っていたのですが、怪我をしてしまい予選落ちしてしまいました。その悔しさもあって高校入学後はスケートに専念することにしたのです。

その後教職に就き指導者としてスタートしたのですが、幸い色んな生徒に恵まれて素晴らしい経験をさせていただきました。全ての教え子たちとの縁が僕をつくってくれていると思っています。バンクーバーオリンピック銀メダルの長島君をはじめ、世界ジュニアスピードスケート選手権優勝の稲川さん、そしてインターハイリレーで優勝した当時のチームキャプテン阿良さん。彼女は高校から本格的にスケートを始めて、最初で最後の大舞台で優勝をつかんだ努力の人でした。素直に何でも吸収し、仲間との絆で大きく成長した姿に多くのことを教えられました。生徒たちに表彰台の上から見える違う風景を見せてあげられるよう一緒に努力していきたいと思っています。

今、最高にスケートが好きです。ここにきてスケートのことがようやくわかってきた気がします。

いんたびゅー きらり

三条高校で輝いている生徒を紹介します。インタビュアーは校長です。

図書室利用促進に一工夫

図書局長 喜多桃香 さん　副局長 庄田乙葉 さん

【庄田さん(左)と喜多さん(右)】

図書室に等身大の校長パネルが登場。「目を引いて本を手にしてもらうきっかけになれば」と企画した喜多さんがはにかみながら答えます。そんな局長をずっとサポートしてきたのが副局長の庄田さん。２人は１年生の時に同じクラス。中学校は別でしたが部活動の大会で顔を合わせたことのある２人が一緒に部活動見学したのが図書局でした。「先輩たちがすごく優しかったので入局しました。」と二人は声をそろえました。最初、新入部員はこの２人だけだったのがその後５人に。本を手にとってもらえるようにポップを作成したり、図書館報『Library』で本を紹介する活動を精力的に行ってきました。喜多さんはこの３年間を振り返って「残念ながら今年はできませんでしたが、学校祭の古本市など色んなことにチャレンジできました。お陰で企画力や文章力がつきました。」と笑顔で話すと、庄田さんも頷きながら「図書局はやらなければならないこともたくさんあるのですが、自分のやりたいことに挑戦できる部活なんです。」と熱く語ってくれました。

喜多さんのお勧めの本は『君の膵臓を食べたい』。「学園モノが好きだということもあるんですが、病気の人への揺れ動く思いだったり、惹かれ合う２人の関係が好きなんです。」一方、庄田さんは『鏡の孤城』がイチオシ。「読んでものすごい衝撃を受けました。ラストでの伏線の回収がすごいんです。」その思いをポップに込めたそうで、表紙の鏡を丹念に描いた力作です。喜多さんの自信のポップは『島とぼくらと』。こちらは表紙の絵からイメージした色遣いの美しいポップです。偶然、どちらも辻村深月さんの作品です。さすが息のあったコンビですね（笑）。ぜひ図書室のポップにも注目してください。

さて、３年生は７月で引退です。喜多さんは市役所でのインターンシップの体験から地域課題解決のために経済学を学ぶことを志望。身体を動かすことが好きな庄田さんは理学療法士になって身体を動かせない辛さをやわらげてあげたいと目標を語ってくれました。この後もお互い励まし合いながら自らを高める姿がみられそうですね。頑張ってください。